



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次
2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘 副会長 / 飯塚 大幸
幹事 / 釜屋 治男 会計 / 河原 治子

平田ロータリークラブ 事務局
〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
8月9日	NHK アナウンサー 堀江清市 様	放送の陰にドラマあり
8月22日	第2690地区 ガバナー ガバナー 森田 昭一郎 様	ガバナー公式訪問例会
8月30日	ホテル ほり江 18:30~	納涼例会

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
38	32	6 (2)	88.89 %	83.33 %

欠席者

杉原朋 / 桐原 / 石原輝 / 園山 (山根 / 牧野)

来訪者

森山・林(出雲南)

メイクアップ

8/3 大島卓・桐原・河原(大社)

次回例会受付当番

(8月30日) 板垣文江 / 牧野昭雄 / 榎野良文

(9月6日) 原 泰久 / 持田稔樹 / 小村益造

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	8/13(休)	8/27	10/29(休)	松江南	8/13	8/27
火	出雲	8/14(休)	9/18(休)		松江しんじ湖	8/14	8/28
水	大社	8/8	8/15(休)		松江	8/15	8/29
木					松江東		
金	出雲南	8/3	8/17	8/31(休)			

会長挨拶

ネクタイをはずして襟を正す

省エネの一環として提唱されたク・ルピズ今年で8年目。提唱当時、シャツメ・カ・は特需景気となりましたが、ネクタイメ・カ・は大打撃でした。行き過ぎの感もあつたク・ルピズが落ち着きだしたら、昨年は節電ファッションなるものが登場、アパレル業界は悲喜こももです。

さて、このク・ルピズファッションですが、特に、ル・ルがあるわけではありません。要は夏を快適に過ごすのと、ファッションの基本である「相手に不愉快な感じを与えず、自分をよりカッコよく見せる」ということにつきます。清潔でだらしなくなければよいのです。ただし、このカッコよく見せるというのがクセモノです。普通のス・ツ姿からネクタイをとっただけでも「仕事から解放されて飲み屋で一杯」という脱力した雰囲気や「冠婚葬祭の帰りに略礼服で」ネクタイ」というような不自然な見え方になってしまいます。なにわともわれ、クールピズの流儀はいろいろありますが、熱い夏、本人が快適であるのはもとより、周りの人に不快感を与えないことこそク・ルピズの極意と言えましょう。

幹事報告

1. 森田昭一郎ガバナーより
2012-2013 年度ガバナー・ノミネー候補 松本祐二氏(益田西RC)
2014-2015 年度ガバナーとして正式決定
2. 8/22(水)森田昭一郎ガバナー公式訪問例会 会場変更
出雲商工会3F(大社RC例会場)を出雲教 信徒会館に変更
交通手段は乗り合わせ各自でお願いします。
3. 事務局 休局 8/13~8/16(盆休)

委員会報告

出席・親睦委員会 : 納涼例会のご案内
日時 8/30(木) 18:30~ ホテルほり江
多数のご参加お待ちしております。
クラブ広報委員会 : ローターの友 9月号の紹介

スマイル



森山・林(出雲南)

(例会にお邪魔します。本年度 出雲南クラブの会長と幹事を務めます。一年間よろしくお願いたします。)

恒松・大谷・河原・釜屋・園

(出雲南RC 森山会長様、林幹事様ようこそお出で下さいました。)

黒田・飯塚大・内田

(森山会長様、林幹事様ようこそいらっしゃいました。)

堀江様ようこそいらっしゃいました。)

伊藤 (森山宗育さん、ようこそおいで下さいました。)

榎野 (出雲南RC 森山会長様、林幹事様のご来訪を歓迎して、)

息子がお世話になります。)

加藤昇 (出雲南クラブ 森山会長、林幹事さん ようこそいらっしゃいました。)

今後共宜しくお願いたします。)

堀江清市様よりスマイルをいただきました。

スピーチ・例会行事

「放送の陰にドラマあり」

NHKアナウンサー 堀江清市氏

さて、スピーチの時間になりご紹介となったところ堀江さんの姿がありません。あたふたしている間に戻っていらして、紹介・スピーチのはじまりとなりました。

マイクの音量調整や、時計をみながらのスピーチ、携帯の着信が鳴った時、広報がカメラを構えた時などの対応は場馴れしておられる余裕を感じました。

スピーチですが、まずはご自身の生立ち、雲南出身でのちに松江に住み高校までは松江にいらしたと、大学に入り、NHKに入社する際のエピソードなどお話をいただきました。方言のきつい人間がアナウンサー職についたことなどユーモアを交えてお話をいただきました。アナウンサーは番組制作もすること、NHK 鹿兒島時代、ちょうど終戦50年の節目を迎え、特攻隊の番組を制作した際の制作秘話をお話をいただきました。まずは、特攻隊の番組を制作するきっかけとなったある本「特攻隊 基地 知覧」との出会い。そして取材をされ、この本を出版された高木敏郎さんとのやりとり、放送部長との放送に関するやりとり、特攻隊という美談の裏側を放送してもいいの、特攻隊の家族がそのことを話して嬉しく思うのかという葛藤、実際に放送してから反響などを、ご自身の心の動きなどとその時に起きた普通では考えられない事象などを含めお話をいただきました。

